



# ミャンマー連邦共和国 エーヤーワディ・デルタ住民参加型 マングローブ総合管理計画プロジェクト

## プロジェクト事業完了報告書

2013年3月

マングローブ共有林タスクフォース/森林局  
専門家チーム(日本工営株式会社)

環境
JR
13-059

ミャンマー連邦  
共和国  
環境保全・林業省森林局



国際協力機構



ミャンマー連邦共和国  
エーヤーワディ・デルタ住民参加型  
マングローブ総合管理計画プロジェクト

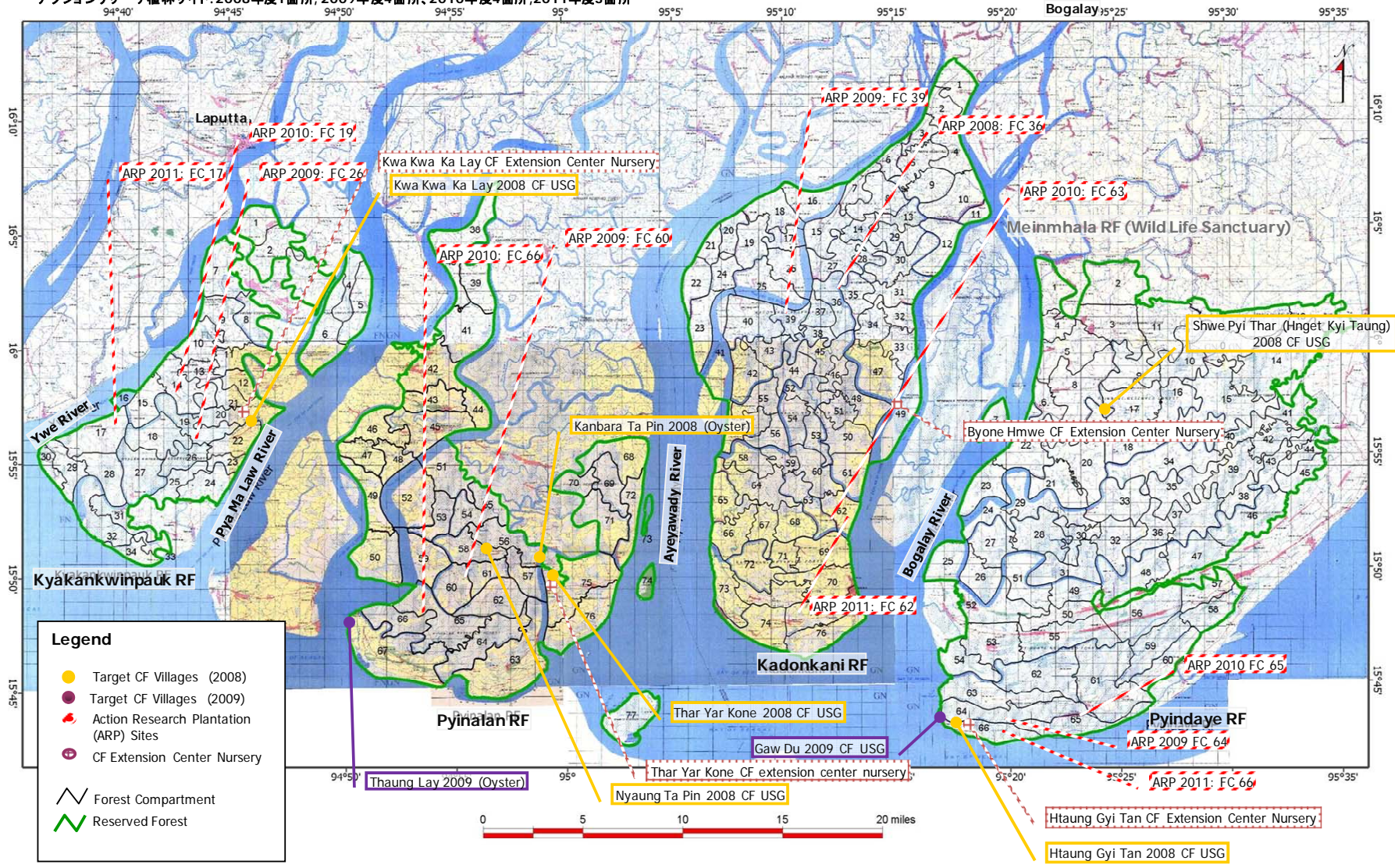
## プロジェクト事業完了報告書

2013年3月

マングローブ共有林タスクフォース/森林局  
専門家チーム（日本工営株式会社）

# プロジェクト活動の位置図 (2013年3月)

対象保全林区(4ヶ所)  
 2008年度選定の対象CFユーザーグループ : イエロー、2009年度選定のCFユーザーグループ: 紫色、カキ養殖支援村落(2村落)  
 CF普及センター苗圃: 4サイト  
 アクションリサーチ植林サイト: 2008年度1箇所、2009年度4箇所、2010年度4箇所、2011年度3箇所



March, 2013

プロジェクト活動進捗状況(2013年3月時点:DPOに基づく)

活動	プロジェクト期間中に期待される成果	活動状況												ミャンマー側責任者	実施者	その他の投入		備考		
		2007		2008		2009		2010		2011		2012				日本側	ミャンマー側			
		4月	12月	4月	12月	4月	12月	4月	12月	4月	12月	4月	12月							
<p><b>アウトプット1: 選定されたコミュニティが継続的にも、経済的にも持続的なコミュニティ林業(CP)を実現する。</b></p>																				
1.1	CFに関心を示す村落の中からCFを導入する村落を選定する。	プロジェクトによって選定された村落(選定された村落のリスト)	サイクロン-ナルホス		I	II										Field Pro 専門家 Manager(FPM)	SOs(LPT, BGL, PYP), ROs, DR Os, Foresters (KDK, KKK, PND, PNL)	専門家 PCD (participatory community development), CA		
1.1.1	CFに関する村民の興味および意思を確認し、対象村落を選定する。	村民の同意(会議の議事録)	2007年度 対象村落		2008年度 対象村落	2009年度 対象村落										同上	同上	同上		
1.1.2	選定した村落において、CFに関する村民の興味および意思を再確認する。	12村落における再確認の結果、6村落における村民の同意(会議の議事録)														同上	同上	同上		
1.1.3	対象村落を再選定する。	再選定された6村落														FPM	SOs(LPT, BGL, PYP)	同上		
a	再選定の候補村落のリストを作成する。	再選定村落のリスト														同上	同上	同上		
b	候補村落の再選定についてJCCで承認を受ける。	JCCの議事録														同上	同上	同上		
1.2	選定した村落の基本的社会経済状況のベースライン調査を行う。	プロジェクトの進捗・インパクトのモニタリングに有効な調査結果(調査結果)	サイクロン-ナルホス													FPM	ROs, DR Os, Foresters (KDK, KKK, PND, PNL)	専門家 PCD, project staff ローカルコスト: Baseline and market survey		
1.2.1	対象村落の社会経済状況を明らかにするためにベースライン調査を実施する。	調査結果報告書														同上	同上	同上		
1.2.2	再選定された対象村落の社会経済状況を再調査する。	再選定された6村落の社会経済状況調査(作成された報告書)														同上	同上	同上		
1.2.3	再選定された対象村落について、CFの有効性および家計収入を再調査する。(必要に応じて)	調査結果報告書														FPM	同上	同上		
1.3	選定した村落において、CFユーザーグループ(CFUSG)を組織化/再組織化する。	構築するCFUSGの組織・再組織化(CFUSG・MCメンバーのリストおよびby-lawが存在する)			1.3 CFUSG	2.1 CFUSG	2.2 CFUSG									FPM	SOs(LPT, BGL, PYP), ROs, DR Os, Foresters (KDK, KKK, PND, PNL)	専門家 PCD, project staff		
1.3.1	マネージメント委員会(MC)のメンバーを選出する。	MCメンバー6人の選出	2007年度 対象村落		2008年度 対象村落	2009年度 対象村落										同上	同上	同上		
1.3.2	MCメンバーを登録する。	6CFUSGでMCメンバーの登録がなされる														同上	同上	同上		
1.3.3	MC内規(by-law)を作成する。	6CFUSGでby-lawの作成がなされる														同上	同上	同上		
1.3.4	再選定された対象村落のCFUSGの状況を再確認し、CFUSGを再組織する。	6CFUSGでMCメンバーの登録、by-lawの作成がなされる	サイクロン-ナルホス													SOs(LPT, BGL, PYP)	ROs, DR Os, Foresters (KDK, KKK, PND, PNL)	同上		
a	MCとメンバーの状況について再確認し、MCを再組織化する。	MCの再組織化														同上	同上	同上		
b	CFUSGメンバーの状況を再確認し、更新されたメンバーリストを作成する。	更新されたメンバーリスト														同上	同上	同上		
c	By-law作成のため、CFUSGとの会議を実施する。	会議議事録														同上	同上	同上		
d	By-lawを作成する。	作成されたby-law														同上	同上	同上		
e	CF管理計画およびCF証書のプロポーザルに、MCメンバーリスト、CFUSGメンバーリストおよびby-lawの内容を反映する。	改訂・更新されたCFプロポーザル														同上	同上	同上		
1.4	CFUSGに対し、CF管理計画及びCF証書のプロポーザル作成/更新を、参加型計画プロセスを通して支援する。	選定された村落で持続的に実施可能なCF活動のCF管理計画	2007年度 対象村落	2008年度 対象村落	2009年度 対象村落											FPM	SOs(LPT, BGL, PYP), ROs, DR Os, Foresters (KDK, KKK, PND, PNL)	専門家 PCD, Project Staff ローカルコスト: operation cost		
1.4.1	プロジェクトによって作成されたCF管理計画をレビューし、必要な更新を加える。	4CFUSGで、CF管理計画がレビューされ、更新される														同上	同上	専門家 PCD, GIS, MF (maugrove forestry)	1.4.2と同様の活動	
1.4.2	既存のCF管理計画を更新する。	2CFUSGでCF管理計画が更新される。														同上	同上	専門家 PCD, GIS, MF	CFUSGs (Fynnian RF)	
a	CFUSGおよび関連ステークホルダーと共に、CF境界の再確認・再調査を実施する。	設置された境界線とGPSデータ														同上	同上	専門家 GIS, MF, PCD		
b	CFUSGにより実施されるCF活動を再確認および再構成する。	会議議事録														同上	同上	専門家 PCD		
c	CF管理計画の内容を更新する。	更新されたCF管理計画														同上	同上	同上		

March, 2013

プロジェクト活動進捗状況(2013年3月時点: DPOに基づく)

活動	プロジェクト期間中に期待される成果	活動状況												ミャンマー責任者	実施者	その他の投入		備考	
		2007		2008		2009		2010		2011		2012				日本側	ミャンマー側		
		4/1	12/31	4/1	12/31	4/1	12/31	4/1	12/31	4/1	12/31	4/1	12/31						
d	CF管理地図を更新する。																		
e	CFプロポーザル(管理計画及び地図)について、森林局(FD)タウンシップレベルとMCメンバーで内容を確認・共有す																		
f	更新されたCFプロポーザルのFDタウンシップへの提出を支援する。																		
1.5	森林局CF令に則り、上記プロポーザルに基づき、CFUSGに対して、CF証書を発行する。																		
1.5.1	CF証書を発行するための評価基準を作成する。																		
1.5.2	プロジェクトにより作成されたCF管理計画に基づき、CFUSGに対しCF証書を発行する。																		1.5.3と同様の活動
1.5.3	更新されたCF管理計画に基づき、CFUSGに対しCF証書を再発行する。																		CFUSGs (Fynnian RE)
a	タウンシップから提出されたCFプロポーザルについて、FDディストリクトによるFDリージョナルレベルへの提出を支援する。																		
b	FDリージョナルからFDディストリクトへのCF証書発行を支援する。																		
c	CF・マングローブプロジェクトの広報活動も兼ねて、CF証書発行式を実施する。																		
1.6	CFUSGに対し、承認されたCF管理計画実施を支援する。																		
1.6.1	CFUSGによるCF活動の実施を支援するための支援計画を作成する。																		
1.6.2	CFUSGのCF活動の実施を支援する。(I)																		
1.6.3	CFUSGのCF活動の実施を支援する。(II)																		
a	CF管理計画に基づき、必要な量と種類の苗を提供する。																		
b	CF活動の実施のため、CFUSGに対して必要な技術指導を提供する。																		
c	CF活動状況のモニタリングのため、CFUSGに対する必要な支援を提供する。																		
d	CF製品の生産、収穫、販売について、CFUSGに対して、必要な情報及び支援を提供する。																		
e	可能であれば、CF製品の収穫および販売を支援する。(チラシ制作など)																		
1.7	CFUSGの所得水準向上のための様々な能力強化プログラムを、水産用(DOF)、ミャンマー農業サービス(MAS)といった協力機関等と連携して、実施する。																		
1.7.1	生計向上ニーズに基づき、プログラムを策定する。																		
1.7.2	プログラムのレビューと更新を実施する。																		
a	CFUSGによる能力強化プログラムの実施計画を改訂する。																		
b	CFUSGによる能力強化プログラム実施のための支援計画を作成する。																		
1.7.3	CFUSGによる実施を支援する。(I)																		1.7.4と同様の活動
1.7.4	CFUSGによる実施を支援する。(II)																		

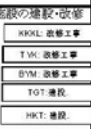
March, 2013

プロジェクト活動進捗状況(2013年3月時点:DPOに基づく)

活動	プロジェクト期間中に期待される成果	活動状況												ミャンマー責任者	実施者	その他の投入		備考	
		2007		2008		2009		2010		2011		2012				日本側	ミャンマー側		
		4月	12月	4月	12月	4月	12月	4月	12月	4月	12月	4月	12月						
a	サブグループを組織・活性化させる。																		
b	アグロフォレストリー																		
c	水産養殖																		
d	早生種による付加価値を持った木材の生産																		
e	産品の収穫																		
f	産品の流通と販売																		
1.7.5	非CF対象村等については、プロジェクトによる支援を既に始めているものについて支援を実施する。(計2村落)																		
a	サブグループを組織・活性化させる。																		
b	水産養殖																		
1.8	承認されたCF管理計画のCFUSOによる実施をモニタリングと評価する。																		
1.8.1	CF管理計画に基づき、モニタリング計画を策定・更新する。																		
1.8.2	進捗および達成度をモニタリングする。																		
1.9	CFUSOメンバーの生計におけるCFの効果についてインパクト調査を行う。																		
1.9.1	実施計画を策定・更新する。																		
1.9.2	フィールド調査を実施する。																		
1.9.3	CFUSOメンバーの生計におけるCFの効果について、インパクト、課題、提言をまとめる。																		
アウトプット2: 森林局のCF管理・支援体制が効果的である。																			
2.1	総合マングローブ管理計画(IMMP)のCF関連箇所のレビューに基づき、CF管理及びCF普及・支援に必要な活動をRFCごとに特定する。																		
2.1.1	IMMPのCF関連箇所をレビューする。																		
2.1.2	CF管理、普及支援に必要な活動を特定する。																		
2.1.3	特定された活動を、APOおよび実施計画に加える。																		
2.2	特定された活動に対するCFタスクフォース(CFTF)技術メンバーの役割と責任を確認する。																		
2.2.1	CFTF技術メンバーの役割および責任を特定する。																		
2.2.2	プロジェクト実施マニュアルに、特定されたCFTF技術メンバーの役割と責任を加える。																		
2.3	特定された活動を実施するためCFTF技術メンバーのニーズ(例:資金、ロジスティクス、人材開発ニーズ)を評価する。																		
2.3.1	CFTF技術メンバーのニーズアセスメントを実施する。																		
2.3.2	CFTF技術メンバーのニーズをレビューし再確認する。																		
2.3.3	研修のニーズを確認するためワークショップを実施し、研修計画・SOP準備計画を策定する。																		

March, 2013

プロジェクト活動進捗状況(2013年3月時点:DPOに基づく)

活動	プロジェクト期間中に期待される成果	活動状況												ミャンマー責任者	実施者	その他の投入		備考	
		2007		2008		2009		2010		2011		2012				日本側	ミャンマー側		
		MF	YF	MF	YF	MF	YF	MF	YF	MF	YF	MF	YF						
2.3.4	CFTF技術メンバーの研修ニーズを検証する。	検証し、再確認された研修ニーズ(研修ニーズと研修計画)																	
2.4	上記の人材開発ニーズ詳細に基づき、研修計画・教材を作成する。	CFTF技術メンバーのニーズを反映した研修計画および教材																	
2.4.1	研修計画および研修教材を作成する。	作成された研修計画および教材																	
a	2.3のワークショップに基づき、研修計画を策定する。	策定された研修計画																	
b	2.3のワークショップに基づき、SOP準備計画を策定する。	策定されたSOP準備計画																	
c	最終化された研修計画に基づき、研修教材を作成する。	作成された研修教材																	
2.4.2	フィードバックに基づき、研修教材を更新する。	更新された研修計画および教材																	
2.5	上記研修計画に基づき、CFTF技術メンバーに研修を行う。	計画に基づき提出された参加者に対する研修の実施(実施された研修および評価の記録)																	
2.5.1	研修プログラムを実施し、モニタリングする。	実施された研修(参加者の人数)																	
a	研修計画に基づき、研修プログラムを実施する。	実施の記録																	
b	研修プログラムのモニタリングのためフィードバックインタビュー調査を実施する。	フィードバックの記録																	
2.5.2	研修計画を評価し、必要な改訂を支援する。	評価結果(ACR, SOP)																	
a	フィードバック会議・ワークショップを実施、研修プログラムを評価する。	フィードバックの記録																	
b	評価に基づき、研修計画およびプログラムを改訂する。	改訂された計画、プログラムおよびSOP																	
2.6	各RFIにおいて、CF普及・畜産センター(CFECN)を建設/改修する。	4 CFECNにおける建設/改修の完了 																	
2.6.1	設計・導入計画を策定する。	策定された設計および導入計画																	
2.6.2	設計・計画に基づき、建設/改修を実施する。	建設/改修された施設																	
2.6.3	必要に応じて維持および修繕を実施する。	維持管理記録																	
2.7	各RFIにおいて、CFUSGへの普及サービス支援を提供する。	普及教材を用いて必要な普及サービス・支が対象CFUSGに対してなされる																	
2.7.1	普及教材を作成する。	作成された普及教材																	
a	普及サービス支援の実施計画を策定する。	策定された実施計画																	
b	計画に基づき、普及教材を作成する。	作成された教材																	
2.7.2	普及サービス支援を実施する。(例:活動1.3~1.7)	実施・モニタリングの記録																	
2.8	CF及びマングローブ林保全に関する広報活動を行う。	マングローブ保全・回復に貢献するため実施された広報活動(広報活動で用いられた資料、広報活動の記録)																	
2.8.1	広報活動のための対象を特定する。	特定された対象																	
2.8.2	広報活動計画を策定する。	策定された活動計画																	
2.8.3	計画に基づき、広報活動を実施する。	実施記録、評価結果																	

March, 2013

プロジェクト活動進捗状況(2013年3月時点: DPOに基づく)

活動	プロジェクト期間中に期待される成果	活動状況												ミャンマー責任者	実施者	その他の投入		備考
		2007		2008		2009		2010		2011		2012				日本側	ミャンマー側	
		4月	12月	4月	12月	4月	12月	4月	12月	4月	12月	4月	12月					
a 計画に基づき、活動を実施する。	実施記録、評価結果	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
b 広報活動をモニタリングし、結果を評価する。	評価結果	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
2.9 森林局の既存SOP(命令等)及びプロジェクト活動からのフィードバックをもとに、マングローブ林のCFに関する詳細なSOPを作成する。	SOP(英訳、ミャンマー語)が承認され、FDによる利用がなされる																	
2.9.1 ドラフトの作成を行う。	ドラフトのSOP																	
a SOP理解計画(活動2.4)に基づき、SOPのドラフトを作成する。	ドラフトのSOP																	
b CFTF技術メンバーとFD関係者との間で、作成されたSOPを共有し、レビューする。	コメント・記録																	
2.9.2 SOPのドラフトを最終化する。	最終化および承認されたSOP																	
a コメントやフィードバックに基づき、SOPのドラフトを最終化する。	最終化されたSOP																	
b 最終化されたSOPについて、FD-DIGから承認を受ける。	承認状(Approved letter)																	
<b>アウトプット3: エーヤーラディ、デルタのマングローブ林及び隣接森林の復旧と管理に関するいくつかの造林技術が確立される。</b>														Overall: FC				
3.1 エーヤーラディ、デルタの生態・地理的ゾーン・管理ゾーンごとに、CF及び非CFのための造林技術を特定する調査を実施する。	マングローブ林の回復に重要な造林技術の特定がなされる(調査記録、調査結果に基づく計画)																	2007年にCARPの全体計画を策定する調査を実施した。
3.2 特定された造林技術(例: 苗木生産、植え付け設計・方法、伐、枝打ら、森林管理)ごとにアクション・リサーチ(A.R.)試験を設計する。	特定された造林技術に基づくAR試験設計および計画																	
3.2.1 試験設計を作成する。	作成されたAR試験設計																	
3.2.2 年次実施計画を策定する。	策定された年次計画																	
3.3 各RFにおいてAR試験を実施する。	設計・計画に基づき実施されたAR試験(実施サイト、AR試験実施記録・報告書)																	
3.3.1 年次実施計画に基づき、活動を実施する。	AR試験実施サイト、実施記録・報告書																	
3.3.2 ARPサインボードを作成し、設置する。	設置されたARPサインボードおよびプロット識別サインボード																	
3.4 ARの植林地において、定期的な技術モニタリング及び初期評価を実施する。	次年度に反映すべきモニタリング結果および技術レポート、ガイドライン(モニタリングレポート、技術レポート)																	
3.4.1 モニタリングおよび評価計画を策定する。	策定されたモニタリング・評価計画																	
3.4.2 計画に基づき、モニタリングおよび評価を実施する。	モニタリングの記録および報告書																	
a プロット配置表、プロットの記録、苗木活動記録を作成・更新する。	作成された表および記録																	
b モニタリングの記録を作成・更新する。	モニタリングの記録																	